

警 察 署 協 議 会 会 議 録

八幡西警察署協議会

開催年月日時	令和4年12月19日 午後4時00分 から 令和4年12月19日 午後5時35分 まで	
開催場所	八幡西警察署 3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下13名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、刑事管理官、総務課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、地域課長、黒崎警部交番所長、事務局
議 事 概 要		
【会長挨拶（要旨）】 年末のお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。 警察も年末年始で忙しい中、このような時間を設けていただき感謝している。 12月2日出陣式があり、私が警察署協議会を代表して参加させていただいた。 警察だけでなく多くの人が北九州の市民のために活動していることが分かる出陣式であった。 現在、年末年始で街も賑わいを見せている。 飲酒運転事故が起きないためにも、しっかり取り締まっていただきたい。 私たちも周りの方々に声を掛けて、事故防止を働き掛けていく。 本日は防犯設備アドバイザーから講話をいただくが、気になることがあれば御意見・御質問をしていただきたい。 【署長挨拶（要旨）】 お忙しい中参加していただき感謝申し上げます。 警察署協議会は地域に密着した警察署運営のために本当に大切な会だと考えている。 新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にあるが、福岡県が特段の行動制限を設けていないことを踏まえ、今回は対面での会議を選択した。 会議は感染防止対策に万全を期しているので、本日も忌憚のない意見をいただきたい。 令和4年を振り返ると、地域の皆様の御協力のおかげで、殺人や強盗という地域の方を震撼させるような事件は未然に発生を防止することができた。		

議 事 概 要

死傷を伴う交通事故も減少している。

3年振りに開催された400年の伝統行事である黒崎祇園山笠の警備も大きな事故なく完遂した。

2年7カ月振りに五代目工藤會による重要未解決事件を解決できたということで、目に見える形で治安対策に貢献できたのではないかと。

現在、年末年始の特別警戒期間中及び年末の交通安全県民運動期間中ということで、気を緩めることなくしっかりと犯罪の抑止に努めてまいりたい。

来年も県警の方針を踏まえながら、また、皆様の声をいただきながら、地域に密着した活動を実施していく。

引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願いする。

【報告事項等】

NPO法人福岡県防犯設備士協会防犯設備アドバイザーによる講話
「防犯設備の種類と効果的な設置方法について」

【事前質問・要望回答】

○ 委員から、「朝の通学時間帯、上の原一丁目の信号から上の原二丁目に向かう信号が短く渋滞が発生していることから、青信号の時間を長くしてほしい。」旨の要望があり、交通課長から、「上の原二丁目交差点の信号については、本年11月29日に渋滞緩和のための時間調整をしており、上の原一丁目から国道211号線方向へ進行する青信号の時間を従前より長くしている。後日、同所周辺の渋滞が緩和されていることを確認した。」旨の回答があった。

○ 委員から、「早朝、小学生が安全に通学できるように補導員が通学路に立って交通整理を行っているが、車両が停止せず通過して行きヒヤリとすることがある。月に1, 2回、警察官も一緒に交通整理をお願いできないか。」旨の要望があり、地域課長から、「午前7時30分から8時00分までの間及び午後5時00分から5時30分までの間は地域警察官が交番前又は交番付近において県下一斉立番を行っている。特定の交差点に警察官を派遣してほしいという要望があれば、その場所を管轄する交番に申し出てほしい。内容を検討し、必要性があれば警察官と一緒に立番する。その都度検討してやっていきたい。」旨の回答があった。

議 事 概 要

【質疑応答】

○ 委員から、「指定方向外通行禁止について、戸畑バイパスや黒崎駅前は右折禁止になっている。その先の家や店に入るときは違反になるのか。」旨の質問があり、交通課長から、「違反になる。ただし除外事由があり、例えば通行禁止の道路があり、その周辺の住民が車両の申請をすれば除く違反となる。」旨の回答があった。

同委員からさらに、「戸畑バイパスで言えば、小倉から八幡方向に進行すると戸畑にガソリンスタンドがあり、同所に入るために右折する車両を何回か見たことがあるが、これはどうか。」旨の質問があり、別の委員から、「同所は直進専用の車線で右折禁止だが、交差点ではない。」旨の発言があった。交通課長から、「右折禁止は交差点に対する規制であり、店舗に入る行為は違反ではない。」旨の回答があった。

○ 委員から、「JRの事故でたまたま特急に乗り合わせており、警察の現場検証ということで車両内で1時間半待機した。原因は自殺という報道だった。自殺防止をどこが管轄しているか分からないが、何万人にも影響が出ている。今後の事故防止、啓発的なものが大変重要になってくるのではないかな。少なくとも警察が現場検証するのであれば、事故防止に関して対策を考えていかなければならないのではないかな。」旨の意見があり、総務課長から、「例えば福岡地区において西鉄天神大牟田線が下大利駅までの連続立体交差事業を実施しているが、これは西日本鉄道と福岡県及び福岡市が進めてきたものである。このようにハード面の整理は事業所と自治体が行う。駅構内等でのキャンペーンで安全を呼び掛ける活動は警察も行っていることから、今後も機会があれば安全を呼び掛けていきたい。」旨の回答があった。

【閉会】